

令和4年度

当初予算資料

黒石市

令和4年度当初予算の概要

1 基本的な考え方

国は、地方団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化などの重要課題に取り組めるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和3年度を上回る額を確保するとしている。

本市の予算は、歳入では、各事業費の財源として、国庫支出金を31億7,673万4千円（前年度当初比+1億3,598万5千円、+4.5%）、市債を8億3,775万1千円（前年度当初比△6,246万円、△6.9%）で見込んだほか、一般財源として、税収は37億8,035万5千円（前年度当初比+3億3,719万7千円、+9.8%）、地方交付税も59億8,714万4千円（前年度当初比+5,934万8千円、+1.0%）と増額で見込んだが、一般財源総額では100億7,533万2千円（前年度当初比△1,595万4千円、△0.2%）とした。

歳出では、新型コロナウイルス感染症拡大による影響からの回復に向けた地域活性化対策事業を新たに実施するほか、市内の子どもが将来、世界で活躍出来る人材となるための支援を重点的に行う。ハード面においては、市民サービス施設の建設工事に着手するほか、空き校舎や学校跡地を活用した、新たなコミュニティ拠点施設の整備や防災公園の整備に取り組む。

まず、「自立したまち」を実現するため、農業者の新たな販路確保として、有機農業で環境負荷軽減と持続性の両立を目指す「オーガニックビレッジ推進事業」を新たに実施するほか、海外での販売を支援する「黒石産品海外販路拡大戦略事業」に取り組む。また、市内へ移住し創業・起業する方の支援を拡充して実施する。

次に、「元気なまち」を実現するため、市立図書館開館記念として、市立図書館を活用した様々な事業に取り組むほか、市の知名度向上をオーストラリアで図るため、現地やオンラインで黒石よさを披露する「津軽の手踊り交流・海外よさ大使育成事業」などに取り組む。

さらに、「安心なまち」を実現するため、「黒石市英語活用力向上事業」及び「くろいしグローバル探求隊事業」の実施により、子どもの英会話力向上を目指すほか、黒石力（地域コミュニティ力）で高齢者等を支え合う「黒石市地域ささえ合い活動促進事業」に取り組む。

今後、歳出の抑制の継続と、財源の確保に努めながら、田園観光産業都市を目指し、「自立した黒石」「元気な黒石」「安心な黒石」の実現に向けて取り組んでいく。

2 予算の規模

- ・ 一般会計 161億5,100万円（前年度当初 156億6,300万円）
（前年度当初比 +4億8,800万円、+3.1%）
- ・ 特別会計等 321億4,985万1千円（前年度当初 318億2,615万円）
含む合計額（前年度当初比 +3億2,370万1千円、+1.0%）

各会計予算比較表

(単位 千円)

会計別	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	対前年度	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	16,151,000	15,663,000	488,000	3.1
黒石病院計	5,276,677	5,385,201	△ 108,524	△ 2.0
水道計	1,175,130	1,122,578	52,552	4.7
下水道計	1,366,192	1,394,911	△ 28,719	△ 2.1
(企業会計合計)	7,817,999	7,902,690	△ 84,691	△ 1.1
国民健康保険特別会計	3,956,635	4,049,804	△ 93,169	△ 2.3
後期高齢者医療特別会計	407,137	390,357	16,780	4.3
姥懐霊園墓地特別会計	12,662	8,818	3,844	43.6
介護保険特別会計	3,767,290	3,763,266	4,024	0.1
温泉供給事業特別会計	13,149	24,914	△ 11,765	△ 47.2
農業集落排水事業特別会計	23,979	23,301	678	2.9
(特別会計合計)	8,180,852	8,260,460	△ 79,608	△ 1.0
合計	32,149,851	31,826,150	323,701	1.0

一般会計予算款別等比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額	構成比	令和3年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	2,935,587	18.2	2,707,907	17.3	227,680	8.4
2 地 方 譲 与 税	134,566	0.8	126,784	0.8	7,782	6.1
3 利 子 割 交 付 金	4,119	0.0	4,369	0.0	△ 250	△ 5.7
4 配 当 割 交 付 金	4,474	0.0	4,759	0.0	△ 285	△ 6.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	6,794	0.0	6,794	0.0	0	0.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	29,625	0.2	17,665	0.1	11,960	67.7
7 地 方 消 費 税 交 付 金	788,522	4.9	694,033	4.4	94,489	13.6
8 環 境 性 能 割 交 付 金	11,234	0.1	7,631	0.1	3,603	47.2
9 地 方 特 例 交 付 金	26,716	0.2	50,737	0.3	△ 24,021	△ 47.3
10 地 方 交 付 税	5,987,144	37.1	5,927,796	37.9	59,348	1.0
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,900	0.0	4,000	0.0	△ 100	△ 2.5
12 分 担 金 及 び 負 担 金	140,478	0.9	136,184	0.9	4,294	3.2
13 使 用 料 及 び 手 数 料	148,373	0.9	140,341	0.9	8,032	5.7
14 国 庫 支 出 金	3,176,734	19.7	3,040,749	19.4	135,985	4.5
15 県 支 出 金	1,251,562	7.8	1,279,831	8.2	△ 28,269	△ 2.2
16 財 産 収 入	5,734	0.0	5,581	0.0	153	2.7
17 寄 附 金	200,014	1.2	200,014	1.3	0	0.0
18 繰 入 金	120,232	0.7	105,158	0.7	15,074	14.3
19 繰 越 金	80,000	0.5	80,000	0.5	0	0.0
20 諸 収 入	257,441	1.6	222,456	1.4	34,985	15.7
21 市 債	837,751	5.2	900,211	5.8	△ 62,460	△ 6.9
合 計	16,151,000	100.0	15,663,000	100.0	488,000	3.1
自 主 財 源	3,887,859	24.0	3,597,641	23.0	290,218	8.1
依 存 財 源	12,263,141	76.0	12,065,359	77.0	197,782	1.6
合 計	16,151,000	100.0	15,663,000	100.0	488,000	3.1

(歳出)

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額	構成比	令和3年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率	
1 議 会 費	169,947	1.1	175,820	1.1	△ 5,873	△ 3.3	
2 総 務 費	2,134,043	13.2	1,809,690	11.6	324,353	17.9	
3 民 生 費	6,542,413	40.5	6,620,851	42.3	△ 78,438	△ 1.2	
4 衛 生 費	1,320,335	8.2	1,281,656	8.2	38,679	3.0	
5 労 働 費	11,888	0.1	12,033	0.1	△ 145	△ 1.2	
6 農 林 水 産 業 費	440,519	2.7	437,599	2.8	2,920	0.7	
7 商 工 費	495,522	3.1	476,039	3.0	19,483	4.1	
8 土 木 費	1,379,563	8.5	1,415,034	9.0	△ 35,471	△ 2.5	
9 消 防 費	755,526	4.7	730,448	4.7	25,078	3.4	
10 教 育 費	1,364,632	8.4	1,151,457	7.3	213,175	18.5	
11 災 害 復 旧 費	1,246	0.0	1,766	0.0	△ 520	△ 29.4	
12 公 債 費	1,500,366	9.3	1,520,607	9.7	△ 20,241	△ 1.3	
13 予 備 費	35,000	0.2	30,000	0.2	5,000	16.7	
合 計	16,151,000	100.0	15,663,000	100.0	488,000	3.1	
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	598,529	3.7	541,707	3.5	56,822	10.5
	単 独 事 業 費	465,106	2.9	254,407	1.6	210,699	82.8
	(小 計)	1,063,635	6.6	796,114	5.1	267,521	33.6
	災 害 復 旧 事 業 費	1,681	0.0	1,726	0.0	△ 45	△ 2.6
合 計	1,065,316	6.6	797,840	5.1	267,476	33.5	

一般会計予算性質別比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額	構成比	令和3年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
自 主 財 源	3,887,859	24.0	3,597,641	23.0	290,218	8.1
市 税	2,935,587	18.2	2,707,907	17.3	227,680	8.4
分担金及び負担金	140,478	0.9	136,184	0.9	4,294	3.2
使用料及び手数料	148,373	0.9	140,341	0.9	8,032	5.7
財 産 収 入	5,734	0.0	5,581	0.0	153	2.7
寄 附 金	200,014	1.2	200,014	1.3	0	0.0
繰 入 金	120,232	0.7	105,158	0.7	15,074	14.3
諸 収 入	257,441	1.6	222,456	1.4	34,985	15.7
繰 越 金	80,000	0.5	80,000	0.5	0	0.0
依 存 財 源	12,263,141	76.0	12,065,359	77.0	197,782	1.6
地 方 譲 与 税	134,566	0.8	126,784	0.8	7,782	6.1
利子割交付金	4,119	0.0	4,369	0.0	△ 250	△ 5.7
配当割交付金	4,474	0.0	4,759	0.0	△ 285	△ 6.0
株式等譲渡所得割交付金	6,794	0.0	6,794	0.0	0	0.0
法人事業税交付金	29,625	0.2	17,665	0.1	11,960	67.7
地方消費税交付金	788,522	4.9	694,033	4.4	94,489	13.6
環境性能割交付金	11,234	0.1	7,631	0.1	3,603	47.2
地方特例交付金	26,716	0.2	50,737	0.3	△ 24,021	△ 47.3
地方交付税	5,987,144	37.1	5,927,796	37.9	59,348	1.0
交通安全対策特別交付金	3,900	0.0	4,000	0.0	△ 100	△ 2.5
国庫支出金	3,176,734	19.7	3,040,749	19.4	135,985	4.5
県 支 出 金	1,251,562	7.8	1,279,831	8.2	△ 28,269	△ 2.2
市 債	837,751	5.2	900,211	5.8	△ 62,460	△ 6.9
合 計	16,151,000	100.0	15,663,000	100.0	488,000	3.1

(歳出)

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額	構成比	令和3年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
義 務 的 経 費	8,231,137	51.0	8,330,054	53.2	△ 98,917	△ 1.2
人 件 費	2,297,825	14.2	2,267,958	14.5	29,867	1.3
扶 助 費	4,447,856	27.6	4,556,400	29.1	△ 108,544	△ 2.4
公 債 費	1,485,456	9.2	1,505,696	9.6	△ 20,240	△ 1.3
投 資 的 経 費	1,065,316	6.6	797,840	5.1	267,476	33.5
普通建設事業費	1,063,635	6.6	796,114	5.1	267,521	33.6
災害復旧事業費	1,681	0.0	1,726	0.0	△ 45	△ 2.6
そ の 他	6,854,547	42.4	6,535,106	41.7	319,441	4.9
物 件 費	2,086,791	12.9	1,880,409	12.0	206,382	11.0
維持補修費	320,279	2.0	307,345	2.0	12,934	4.2
補助費等	2,636,099	16.3	2,537,942	16.2	98,157	3.9
積 立 金	211,963	1.3	211,166	1.3	797	0.4
投資及び出資金	501	0.0	501	0.0	0	0.0
貸 付 金	132,300	0.8	130,800	0.8	1,500	1.1
繰 出 金	1,466,614	9.1	1,466,943	9.4	△ 329	0.0
合 計	16,151,000	100.0	15,663,000	100.0	488,000	3.1

一部事務組合負担金・企業会計補助金・特別会計繰出金の状況

(単位 千円、%)

一部事務組合負担金	令和4年度 当初予算 A	令和3年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
黒石地区清掃施設組合	284,858	290,494	△ 5,636	△ 1.9
弘前地区消防事務組合	609,022	614,342	△ 5,320	△ 0.9
津軽広域連合(総務費+障害判定)	6,129	6,276	△ 147	△ 2.3
津軽広域連合(L尿等希釈投入施設)	34,955	34,296	659	1.9
青森県後期高齢者医療広域連合	361,448	356,237	5,211	1.5
青森県市町村総合事務組合	16,880	19,245	△ 2,365	△ 12.3
合計	1,313,292	1,320,890	△ 7,598	△ 0.6

企業会計補助金	令和4年度 当初予算 A	令和3年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
病院事業会計	469,469	450,000	19,469	4.3
水道事業会計	10,912	7,900	3,012	38.1
下水道事業会計	350,000	350,000	0	0.0
合計	830,381	807,900	22,481	2.8

特別会計繰出金	令和4年度 当初予算 A	令和3年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
国民健康保険特別会計	336,281	342,044	△ 5,763	△ 1.7
後期高齢者医療特別会計	140,715	141,655	△ 940	△ 0.7
介護保険特別会計	605,324	604,887	437	0.1
農業集落排水事業特別会計	22,476	21,750	726	3.3
合計	1,104,796	1,110,336	△ 5,540	△ 0.5

主要な施策について

令和4年度 黒石市主要施策一覧

重：重点事業 新：新規事業

1. 自立したまち

(1) 地域コミュニティの活性化で自立したまち（協働）

重	① 空き校舎利活用改修事業	45,000 千円
	② 市民協働事業	1,795 千円
	③ 老人クラブ活動費事業	1,989 千円
重	④ 生ごみ処理コミュニティビジネスモデル事業	2,981 千円
	⑤ 地区要望対応事業	25,000 千円
	⑥ 地域力向上事業	365 千円
	⑦ 地域学校協働活動推進事業	87 千円

(2) しごとづくりで自立したまち（産業振興）

重	新	① 黒石産品海外販路拡大戦略事業	6,247 千円		
		新しい生活様式に対応した商品の開発や輸出戦略の策定によって黒石産品の新たな海外販路を開拓し、自立した経済力の確立を目指す。			
		② 人材確保・就職支援事業	529 千円		
		③ シルバー人材センター事業	9,716 千円		
		④ 移住支援事業	1,643 千円		
		⑤ 新規就農による地域おこし協力隊活動事業	14,717 千円		
		⑥ 遊休農地を活用する農福連携事業	1,096 千円		
		⑦ くろいし農産物等販売力強化事業	682 千円		
		⑧ 黒石特産果樹ブランド化推進事業	160 千円		
重	新	⑨ 黒石コミュニティファーム事業	104 千円		
		⑩ 雪の恵み！高冷地野菜「黒石雪むろ」ブランド化事業	1,008 千円		
		豪雪地帯の特徴を活かした雪むろ施設を市内に整備し、農産物等の貯蔵量を増加させるほか、農作物を「雪むろ貯蔵農産物」として販売することで、他団体との差別化による農業者の所得向上を図る。			
重	新	⑪ オーガニックビレッジ推進事業	10,191 千円		
		有機農法などの環境負荷低減型作物や海外に依存している高付加価値作物の生産に取り組む農業法人等を支援するため、農業用機械等の導入費用を助成する。			
		⑫ 黒石食ビジネス振興事業	594 千円		
		⑬ 黒石産「ムツニシキ」パブリシティ戦略事業	766 千円		
		⑭ 黒石特産果樹生産力強化事業	1,001 千円		
		⑮ 中山間地域等直接支払交付金事業	48,806 千円		
		⑯ 強い農林水産業のための基盤づくり事業	12,962 千円		
		⑰ 農地中間管理事業	2,882 千円		
		⑱ 多面的機能支払交付金事業	34,352 千円		
		⑲ 新規就農者経営発展支援事業	38,235 千円		
		⑳ 特別保証制度事業	147,205 千円		
		重		㉑ 中心商店街空き店舗対策事業	4,052 千円
				㉒ 創業・起業支援事業	1,088 千円
				㉓ 黒石産品販路拡大支援事業	2,541 千円
				㉔ 黒石ICロジスティクスクロッシング推進事業	218 千円

2. 元気なまち

(1) 歴史と伝統を活かした元気なまち（文化）

重	新	① 津軽の手踊り交流・海外よされ大使育成事業	6,645 千円
		市内の手踊り団体とオーストラリア（シドニー）で活動する踊りグループによるオンライン等での手踊り交流を実施し、海外で津軽の手踊りや黒石よされを披露する人材の育成を図る。	
		② 歴史的景観形成事業	2,911 千円
		③ 伝統的建造物群保存地区基盤強化事業	9,247 千円
		④ 国指定文化財管理事業	9,881 千円
		⑤ 黒石少年少女合唱団育成事業	453 千円
		⑥ 黒石市文化祭補助金事業	893 千円

(2) 新たな拠点で人がにぎわう元気なまち（環境）

重	① 市民サービス施設整備事業	294,100 千円	
	② 地域公共交通関係事業	3,858 千円	
	③ 公共交通補助事業	100,003 千円	
	④ 松の湯交流館管理運営事業	15,584 千円	
重	新	⑤ 旧中郷小学校跡地防災公園施設整備事業	404 千円
		閉校となった旧中郷小学校の跡地を防災公園として整備するため、各種計画を策定するほか、関係機関との協議を行う。	
重	新	⑥ 図書館利活用促進事業	1,251 千円
		新たに開館する市立図書館を市民に利用してもらうため、子ども映画会や出張説明会をはじめとした、子どもを中心とした図書館の利活用促進を図る。	

(3) 移住人口・交流人口の拡大で元気なまち（観光）

	① 移住交流推進事業	545 千円	
	② 宮古市交流事業	772 千円	
	③ 空き家利活用事業	1,442 千円	
	④ ワーキングホリデー黒石事業	801 千円	
	⑤ 中野もみじ山誘客推進事業	5,841 千円	
	⑥ 観光団体振興・支援事業	黒石ねぶた祭り	1,100 千円
		人形ねぶた	990 千円
		黒石こみせまつり	1,300 千円
		黒石観光協会	13,083 千円
		黒石りんごまつり	1,350 千円
		黒石駅前観光案内所運営事業	5,130 千円
	⑦ 観光施設適正管理・運営事業	87,148 千円	
	⑧ 黒石よされ事業	11,134 千円	
	⑨ インバウンド観光推進事業	6,723 千円	
重	新	⑩ 観光振興企業人材活用事業	6,600 千円
		民間企業から人材の派遣を受け、アフターコロナにおける旅行需要を黒石市に引き寄せるための施策や、市独自の観光資源を活かした誘客の検討などに取り組む。	

3. 安心なまち

(1) 子育て支援と教育環境の充実で安心なまち（子育て・教育）

重	新	① くろいしグローバル探求隊事業 海外をより身近に感じてもらうため、市内の小学生を対象に英語講座やオーストラリアの学生とのオンライン交流を行い、令和5年度以降のオーストラリア派遣事業の実施を目指す。	688 千円
重	新	② こども発達巡回支援事業 障害の疑いがあると思われる子どもを専門的に支援するため、発達障害の知識を持つ専門員が市の教育・保育施設等を定期的に巡回し、施設職員や保護者に助言を行う。	1,942 千円
		③ 児童館・児童センター管理運営事業	66,550 千円
		④ 児童手当給付事業	394,414 千円
		⑤ 子ども医療費給付事業	78,609 千円
		⑥ 児童扶養手当給付事業	195,177 千円
		⑦ ひとり親家庭等医療費給付事業	29,358 千円
		⑧ 子どものための教育・保育給付事業	1,402,743 千円
		⑨ 障害児保育事業	7,824 千円
		⑩ 延長保育事業	18,524 千円
		⑪ 一時預かり事業	20,794 千円
		⑫ 病後児保育事業	11,568 千円
		⑬ 放課後児童健全育成事業	78,213 千円
		⑭ 地域子育て支援拠点事業	35,892 千円
		⑮ 要保護児童対策事業	2,643 千円
		⑯ こどもインフルエンザ予防接種費用助成事業	1,652 千円
		⑰ 特定不妊治療費助成事業	1,004 千円
重		⑱ 子育て支援アプリを活用した情報配信事業	396 千円
		⑲ 子育てサポート事業	1,049 千円
		⑳ 養育支援訪問事業	756 千円
		㉑ 算数・数学「UPる」先生事業	7,758 千円
		㉒ やる気「UPる」塾事業	484 千円
重	新	㉓ 黒石市英語活用力向上事業 市内の中学生を対象に外国語指導助手とオール・イングリッシュによる活動を行うことで、英語力・コミュニケーション能力や国際協調の精神を養うことで、グローバルな人材の育成を目指す。	47 千円
		㉔ 小・中学校管理事業	532,224 千円
		㉕ 小・中学校教育振興事業	73,364 千円
		㉖ 家庭教育事業	364 千円
		㉗ 未来を担うリーダー養成研修会事業	1,161 千円
		㉘ 魅力ある子ども会の体制づくり事業	194 千円

(2) 高齢者福祉の充実で安心なまち（福祉）

重	新	① 黒石市地域ささえ合い活動促進事業	7,717 千円
高齢者が住み慣れた地域で元気に生きがいを持って暮らしてもらうため、高齢者の日常生活における助け合い活動や住民同士での交流活動に対して補助金を交付する。			
		② 敬老会事業	7,917 千円
		③ 老人福祉センター管理運営事業	17,674 千円
		④ 高齢者世帯等除雪サービス事業	3,230 千円
		⑤ 高齢者地域見守り事業	3,801 千円
		⑥ 養護老人ホーム入所措置事業	56,038 千円

(3) 健康づくりの推進で安心なまち（健康・福祉）

		① がん検診事業	49,869 千円
		② 健康マイレージ事業	1,185 千円
		③ 市民運動会事業	516 千円
		④ 国民健康保険若年層メタボリックシンドローム検診費用助成事業	453 千円
		⑤ 国民健康保険インフルエンザ予防接種費用助成事業	1,165 千円
重		⑥ 国民健康保険脳ドック検診費用助成事業	1,663 千円

(4) みんなが暮らしやすい安心なまち（安全・安心）

重	新	① マイナンバーカードを活用したコンビニ交付導入事業	37,110 千円
全国のコンビニに設置されている端末を使って個人証明書を取得できるコンビニ交付サービスの導入により、マイナンバーカードの普及促進と市民の利便性向上を図る。			
		② 特別障害者手当等給付事業	21,866 千円
		③ 重度心身障害者医療費助成事業	29,395 千円
		④ 自立支援医療費給付事業	61,570 千円
		⑤ 障害福祉サービス等給付事業	845,978 千円
		⑥ 障害児通所給付事業	120,249 千円
		⑦ 手話言語普及事業	370 千円
		⑧ 橋梁長寿命化事業	176,000 千円
重		⑨ 黒石都市計画道路3・4・7黒石環状線街路事業	95,847 千円
		⑩ あけぼの町団地住宅建設事業	5,397 千円
重	新	⑪ 上下水道料金等のコンビニ収納及びスマホ決済導入事業	3,012 千円
水道料金等のコンビニ支払いやスマホ決済といった多様な支払方法に対応することで、市民の利便性向上を図る。			
		⑫ 防災士養成補助事業 ～地域の防災リーダーになろう～	600 千円

新規重点事業等の概要





【現状・課題】

コロナ禍で黒石産品の消費量減少

<現状>

コロナ禍により、観光・物産PRの機会が激減。海外へ渡航できずともPRが可能な場が必要。また、外食需要の激減に伴い、R3年産米の概算金が過去最大の下落幅に。

R3年度中に、香港に向けてムツニシキパックご飯の輸出トライアルを実施計画中。ムツニシキに限らず、黒石産米の安定的な販路拡大が課題。

また、外務省が主催する「地域の魅力発信セミナー」では、駐日外交団、駐日外国航空会社、食品輸出関連企業、観光関連企業などが招待者として招かれ、それらの招待者に向けてPRをすることができる。また、開催後に外務省からのフォローアップも受けることができる。参加自治体も成果を得られている。

<課題>

- ◆コロナ禍の外食需要低下による米価下落対策
- ◆駐日外交団等へ直接PRの機会創出



【事業内容】

新しい生活様式に適應した商品開発、販路確保活動、輸出戦略策定

5,000千円

内容：

- ・ムツニシキパックご飯のパッケージ商品化例：ムツニシキパックご飯と寿司ネタのパッケージ商品化
 - ・米価下落対策として、黒石産米の海外販路拡大のため、商社との業務提携に向けたプロモーション活動
 - ・りんご、牡丹そば、ムツニシキパックご飯含む黒石産米を、オーストラリアとシンガポールを対象に、流通販路の確保
 - ・R5年度以降の販路拡大のため、商品取扱プレイヤーの擁立・育成も含めた輸出戦略の策定
- 以上の取り組みを、弘前大学との連携協定（仮）、黒石市農産物等輸出促進協議会、海外現地事業者と連携して実施

外務省主催 地域の魅力発信セミナーへ参加

1,247千円

対象：市内農産物生産者、加工事業者、旅行事業者、市職員（計10名程度）

内容：

- <第1部>
地元産品の輸出促進、投資誘致、インバウンド観光誘致等に関するプレゼンテーション実施
- <第2部>
ブースで、地元の特産品等の試食・試飲の提供や伝統工芸の体験等しながら交流会
⇒りんご、ムツニシキ、牡丹そば、地酒などの試食・試飲
⇒観光PR

【効果】

- ◆新しい生活様式に合ったパックご飯の現地ニーズ把握
- ◆業務提携による、より密な販路拡大手段の確保
- ◆駐日外交団や輸出関連企業、観光関連企業へ“直接”PRをする絶好のチャンス
- ◆農作物等の国内需要減少の対応策として新たな海外への販路形成
- ◆新たなネットワークの形成・市場開拓へ

【自立した経済力の確立】



【事業費内訳】

商品開発・販路調査・戦略策定

委託料 5,000,000円

<委託内容>

ムツニシキパックご飯とネタとのパッケージ商品化、オーストラリア営業代行、シンガポールテスト販売、計画作成

【中山間地域所得確保対策】を充当

地域の魅力発信セミナー

旅費交通費 437,000円

委託料（ブース企画運営） 809,360円

<委託料内訳>

給仕者業務料・旅費 261,360円、通訳手配 48,000円、

物産お土産 100,000円、食材手配 300,000円、

消耗品費 50,000円、通信運搬費 50,000円

【現状・課題】

1. 本市の雪むろを活用した、りんごの貯蔵は、黒森地区のみで行われており、貯蔵数量が極めて限定的なものとなっている。
2. 豪雪地帯である本市の気象条件を有効に活かし、天然冷房といわれる「雪を活用した雪むろ」で農産物の貯蔵を山間部の地区に推進することで、生産地の拡大を行うとともに、販路の確保や農業者の所得向上を図る必要がある。



【事業内容】

○沖揚平活性化施設の敷地内に単管を使用した雪むろ施設を整備し、令和4年秋季に収穫した高冷地野菜等の農産物を貯蔵するとともに、令和5年春の雪むろ開封時には糖度等の上昇度を検証するための測定を行い、青森県内で最も遅い6月上旬販売に結びつける。

また、年度ごとの降雪量は異なるため、降雪量に左右されない農産物の貯蔵に有効な雪むろの検証を行う。

①貯蔵施設整備

農産物に適した貯蔵が可能となる雪むろ施設の整備を行う。

②貯蔵した農産物のでんぷん及び糖度測定

※機械によるでんぷん・糖度測定、腐敗の有無等を確認。協力者の選定を含む。
貯蔵農作物：じゃがいも・にんじん・だいこん等

③雪むろ農産物の販売

※販売場所の選定、雪むろ開封時期の検証を行い県内で一番遅い販売方法の検討を行う。また、将来的には、ネット販売や産直ECサイトを活用した予約販売を実施しコスト削減とリスク低減等を図る。

【効果】

○事業実施により、雪むろを活用した農産物の貯蔵及び貯蔵量の増加が期待できる。

○将来的な事業継承を行うことで、農業者の増加と新たなビジネスモデルの構築に結びつく。

○「雪むろ貯蔵農産物」として他団体との差別化を図ることにより、高付加価値化が期待できるとともに、農業者の所得向上を図ることができる。



オーガニックビレッジ推進事業【新規】

予算額 10,191千円

【現状・課題】

◆少子高齢化、人口減少により農産物の供給が需要を上回り、毎年、同じ農産物を同じ生産方法で作るだけでは、市場から淘汰されることが懸念されている。

◆施肥や農薬による防除、化学燃料由来の資材利用による生産性の向上は、環境負荷の増大や農産物の安全性の低下を招くことが問題視されている。

◆海外からの輸入に頼っている大豆などの主要穀物は、生産国の天候不順やコロナ禍による世界的な内食需要の増加により、輸出国の動きに左右されることから、国内の生産力を高めることが求められている。

持続可能な農業経営に重要な取組みは

- 環境負荷軽減の生産技術の確立
- 輸入から国内生産への転換

時代の変化、市場の変化に合わせ、自らの農業を変革し、地域農業を牽引する農業者を育成・支援することが急務である。

【事業内容】

◆「環境負荷低減と持続性の両立」を可能とする産地を確立するため、時代の変化に柔軟に対応しグローバルな視点で農産物の価値を訴求する農業者を育成・支援することを目的に、減農薬栽培や有機農法など環境負荷低減に向けた生産や、付加価値の高い輸入に依存している農産物の生産拡大に取り組む農業経営体を支援する。

【補助対象者】

環境負荷低減型生産及び海外に依存している高付加価値作物の生産に取り組む農業法人、営農集団及び農業者組織など

【補助対象経費】

生産力向上と持続性の両立を可能とする環境負荷低減生産等に必要となる農業用機械

- ・大豆収穫用コンバイン
- ・水田除草機（有機米栽培）など

【補助要件】

対象機器の合計が100万円以上

【補助内容】

導入費用の1/2以内（上限200万円）

『補助金は農業振興基金積立金を充当』

【効果】

◆安全安心で健康的な価値を訴求した豊かな食生活を提供する産地の魅力を全国に発信できる。

◆健康志向の上昇により需要が高まっている輸入農産物を国内生産へ転換を図ることで、持続的な農業基盤を構築することができる。

◆有機農業の推進により、環境に優しい持続可能な農業経営の実現を図る。

【顧客ニーズに合わせた価値を訴求】
ベジタリアン、ヴィーガン菜食者向け大豆ミート食品





【現状・課題】

人脈の形成・維持

<現状>

令和元年12月に、豪州シドニーで開催されたMatsuri Japan Festivalで、津軽民謡手踊りや黒石よさをステージで披露。その際、現地で踊りグループに所属する市に縁がある方と会うことができた。

市の観光PRやりんごジュースの試飲を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、継続的なプロモーションができていない。

市においても、黒石よされが2年連続中止になるなど、祭り・イベントがない。

<課題>

- ◆令和元年に実施したプロモーションのフォローアップ
- ◆継続的・持続的なPR

★令和元年12月のMatsuri Japan Festivalでのステージ出演の様子



【事業内容】

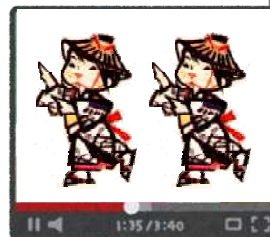
オンラインでの手踊り交流

694千円

対象：市内手踊り団体と豪州シドニーで活躍する踊りグループ

内容：

- ・現地の踊りグループとオンライン交流
- ・手踊りの指導
- ・教材動画の作成
- ・現地リーダーに対して、活動費を助成



※令和3年12月、シドニーでのイベントでトライアルとして黒石よさを披露

現地イベントでの手踊り披露

5,951千円

対象：市内手踊り団体と豪州シドニーで活躍する踊りグループ

内容：

- ・現地での日本祭りなどで合同で手踊りや黒石よさを披露

【事業費内訳】

旅費	1,815,000円
需要費（消耗品等）	102,000円
役務費（備品等送料・手数料）	328,000円
委託料（ステージ出演調整）	4,300,000円
※イベントステージ出演費	
現地講師活動環境整備費	
旅客業務一式費	含む

【効果】

- ◆民間レベルでの交流の促進
- ◆市の知名度向上
- ◆海外で、津軽の手踊り・黒石よさを披露してくれる人材の育成
- ◆現地で黒石市の観光・物産PRをしてくれる人材の確保
- ◆将来的には、くろいしグローバル探求隊に本事業を組み込み、小・中学生のよされ交流も視野に



海外でも広く踊られている“よさこい”のように、黒石よされも世界的な踊りに！

【世界で活躍できる人材の育成】、
【自立した経済力の確立】

使用料及び賃借料（会場使用料等） 100,000円

クリア経済活動助成事業助成金活用予定

旧中郷小学校跡地防災公園施設整備事業

建設部都市建築課、上下水道課

事業主体	黒石市	全体事業費	C=520,000千円(都市建築課)、C=17,204千円(上下水道課)	事業期間	令和4～8年度
事業内容	要件：防災機能を整備し、面積2ha以上の都市公園（地域防災計画の位置付け）				
	①既存校舎解体設計業務 1.0式	②既存校舎工損調査業務 1.0式	③既存校舎解体撤去工事 1.0式		
	④既存校舎解体工事監理業務 1.0式	⑤防災公園整備設計業務 1.0式	⑥防災公園・マンホールトイレ整備工事 1.0式		
国庫補助金	・社会資本整備総合交付金 【補助率：50%】		国庫補助事業名	・都市公園等事業・下水道総合地震対策事業	
R4 予算額	C=404千円（時間外、普通旅費、消耗品費）				
事業内容	①基本構想・計画策定業務【直営】1.0式				

中郷小学校跡地公園整備事業計画区域図



既存旧中郷小学校



目的

- ・地域生活圏の広域的かつ多様なレクリエーションニーズに対応するとともに、災害等に対し安全・安心な都市公園を形成する事で、支え合える地域社会の構築に資する。
- ・災害時、避難場所に避難してきた方に衛生的なトイレ環境を提供する。

防災公園イメージ(一例)

ベンチ型 かまど



マンホール型トイレ(上下水道課対応)



ソーラー型外灯



防災標識・解説サイン



効果

- ・公園利用による地域コミュニティの強化
- ・公園利用による地区住民の健康増進
- ・避難所としての機能保有による復旧・復興・救護活動の拠点施設

公園利用イメージ(例：野球・グランドゴルフ・他)



令和4年度
新規事業
1,251千円

図書館利活用促進事業

～ 図書活はじめませんか？～



黒石市立図書館
3つの基本理念

学びあう
図書館

憩いと
賑わいの
図書館

市民の力
を育む
図書館

概要

市立図書館の第一歩として、子ども達を中心に市民の図書館利活用促進を図る。

取組内容

これまで行ってきた読み聞かせや製本講座等に加えて次の取組を行う。

○開館時間の特別延長

図書館オープンから9月末までの3～4か月間、開館時間を1時間延長し、放課後の児童生徒、仕事帰りの社会人の利用を促す。

○出張説明会『おでかけライブラリ・出張版』

市内の小・中学校、高等学校を訪問し、図書館の利用案内、インターネットからの蔵書検索の紹介などを実施する。

○図書館体験ツアー『おでかけライブラリ・ツアー版』

総合的学習やキャリア教育の授業として児童生徒が図書館を訪問し、施設見学や活用方法の紹介、図書館業務の体験等を行う。

○子ども映写会

夏休み・冬休みに児童を対象とした映写会を開催し、原作や関連図書の紹介などを行う。

○読み聞かせ研修会

市内の教育施設・読書関係団体・ボランティアに関心のある一般市民を対象に、県内で先進的取組を行っているボランティア団体から講師を招き、読み聞かせの研修会と情報交換会を開催する。

○定期配本『百冊文庫』

かつての百冊文庫の復刻版として、市内の学校、公民館・地区センター等を対象に新刊図書や推薦図書を中心に定期配本し、市報、公民館だより等で紹介する。図書セットをローテーションさせることで、各施設に次々と本を届ける。

※昭和40～50年代に行われていた、市内の銀行や駅に無人の本箱を設置する取組

○各種講座等の連携

市や各種団体が主催する講座等の開催に際し、関連図書の購入や開催結果を展示するなど、事業効果の向上を図る。

観光振興企業人材活用事業

新規事業
令和4年度から

事業費
6,600千円

【現状と課題】

黒石市の観光客数は長年減少傾向にある。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響で減少幅は顕著になっている。

原因は刻々と変化する観光客のニーズに対応が遅れ、求めるサービスと提供できるサービスの乖離が徐々に大きくなっていることにある。

対策として、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと予想される今後1～2年はマイクロツーリズムの需要を、その後は首都圏を中心とした国内需要を取り込めるよう、宿泊と体験型コンテンツを中心に提供サービスの刷新が求められる。



【事業内容】

国の地域活性化起業人(企業人材派遣制度)を活用し、民間のスペシャリスト人材の派遣を受ける。三大都市圏からの派遣人材であるため、アフターコロナを見据え、首都圏の国内需要を黒石市に引き寄せる施策に取り組んでもらう。

黒石よされ、津軽じょんから節をはじめとする体験型コンテンツのほか、中町こみせ通りなど独自の観光資源を活かし、首都圏からでも足を延ばし市内宿泊施設に滞在する動機を作るとともに、一例として津軽伝承工芸館の活用や体験メニューと宿泊をセットにしたプランを観光施設に助言するなど、誘客に向けた検討にも取り組んでもらう。



【事業実施による効果】

三大都市圏で活躍する人材と協働することで、地元観光事業者が新しい視点で自らの事業を捉えなおす機会となることが期待できる。地元では見慣れているため、プラスの要因もマイナスの要因も気づきにくい事柄を外部の視点で指摘してもらい、地元観光事業者が事業を刷新するきっかけとなることが期待できる。

地域活性化起業人を起爆剤として、地元観光事業者のレベルが向上し、観光客の増加が移住人口・交流人口の拡大につながり、元気なまちが実現する。





【現状・課題】

海外をより身近に

<現状>

様々な産業で日本市場が縮小し、グローバル化には逆らえない。黒石市においては、インバウンド観光客の誘客や当市産品の輸出に注目し、外貨の獲得に注力してきた。将来的な日本市場を見据えて、グローバルな人材育成は必要不可欠。令和3年度からは、小学3～4を対象とした英語講座を実施し、また小学5～6年を対象としたオンライン交流の実施を模索中。

<課題>

- ◆国際感覚を養う機会が少ない
- ◆中学生への英語に触れる機会の提供
- ◆海外経験の機会の提供



【事業内容】

英語講座 118千円

対象：市内小学3～4年生
 期間：各シーズン5回×4コース 全20回
 内容：CIR・ALTと連携し、週1回で英語・文化理解講座を実施
 ※夏休み期間、学校等でサロン活動を実施

オンライン交流 12千円

対象：市内小学5～6年生、
 期間：随時
 内容：現地校とオンラインを通じて、歌の披露や英語で昔話の紹介を実施

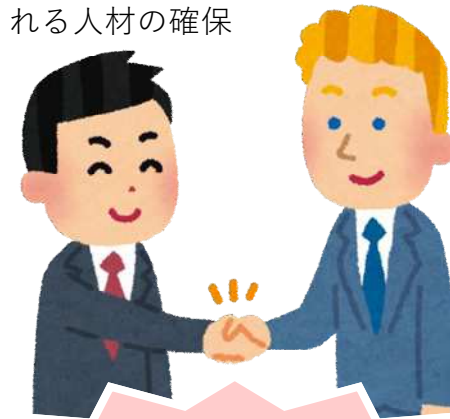
豪州派遣へ向けた地盤作り 558千円

内容：
 ・中学生のオーストラリア派遣をR5からの実施に向けた現地校の模索・調整
 ・バーチャルツアーを実施し、海外で勤務する日本人に対してインタビュー
 ・指導課実施のイングリッシュキャンプと連携し、小学校から中学校まで継続的な英語学習の場を提供



【効果】

- ◆外国語や多文化への理解
- ◆海外をより身近なものとして捉えるマインド作り
- ◆海外進出への機運醸成
- ◆外国人の友達作り、ネットワーク作り
- ◆現地で黒石市の観光・物産PRをしてくれる人材の確保



将来、黒石市に住みながら海外を相手に仕事をするような、または、海外に拠点をもちながら黒石市とつながりを持つ、グローバル人材の育成を目指す！

【世界で活躍できる人材の育成】

【事業費内訳】

職員手当等	96,000円
需要費(消耗品費)	126,000円
役務費(資料等送料)	16,000円
委託料 (バーチャルツアー委託業務)	450,000円

【事業スケジュール案】

◆派遣3回、受入3回(計6年)実施後に、継続性を検討

時期	R3年 9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	7～8月	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
英語講座 小学3～4年	参加者募集	実施						継続									
オンライン交流 小学5～6年			交流先学校探し			実施		継続		イングリッシュキャンプ実施(指導課)							
中学生派遣 中学1～2年								交流校探索、バーチャルツアー			派遣		派遣			派遣	
豪州学生受入												受入		受入		受入	

見直し

子育て支援と教育環境の充実で安心なまち

こども発達巡回支援事業(新規)

事業費 1,942千円

財源

地域生活支援事業として国から1/2、
県から1/4の補助金有り。市は1/4。

現状と課題

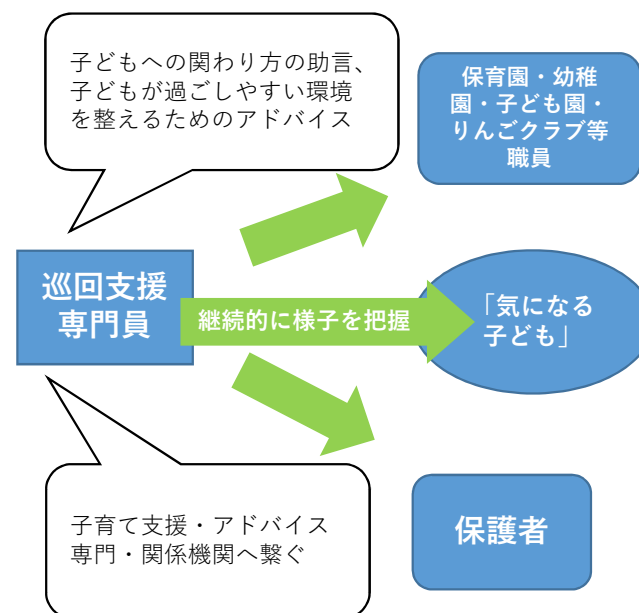
黒石市では、障害児通所支援の利用者が平成28年度の50人から令和2年度は88人に増えており、全国的にも障害児通所支援を利用する児童は大きな伸びをみせている。

加えて、障害児と診断されていないが、疑いがあると思われる「気になる子ども」も増加しており、教育・保育施設等の現場では、その子どもの対応について、発達障害等の専門的な知識も必要なため、「見極めができない」「対応の仕方がわからない」等悩み苦労している現状である。

そのような子どもは保護者が気づいていない、もしくは気にしているが気軽に相談できる場が少なく、専門的な療育が必要であるのに、その療育が行き届いていない可能性がある。

事業内容

教育・保育施設等に発達障害の知識を持つ専門員が定期的に(年3~4回)巡回し、継続的に子どもの様子を確認し、保育や子どもへの対応について施設職員や保護者に助言などを行う。



効果

○教育・保育施設等を訪問することで、子どもの直接的な困り感や、社会での困難さを実際の場面で把握することができ、適切な助言をすることができる。

○早期発見が可能なため、早めの療育支援へ繋げることができる。

○保護者との関わりのなかで、子育ての悩みを共有したり対応と一緒に考えたりすることで、保護者へ安心感を与えることができ、保護者の子育てのスキルアップを支援することができる。

○子どもが日常を過ごす場面の中でこどもの行動と特徴を把握し、有効な関わり方や環境設定の工夫をすることで、子どもの生活適応を促進することができ、教育・保育施設等の保育の質の向上も期待できる。

黒石市英語活用力向上事業【新規】

本年度要求額 47千円

【現状・課題】

<現状>

- 新学習指導要領の全面実施により、中学校の外国語の授業は英語で行うことを基本とするなど、生徒が英語に触れる機会の充実と実際のコミュニケーションの場面で活用することが、これまで以上に求められている。
- 今年度の全国学力・学習状況調査の集計結果では、「授業以外で日常的に英語を活用する機会が十分にあった」とする割合が、市内小・中ともに国や県の平均を下回っている。
- イングリッシュキャンプについては、弘前市、平川市、つがる市、三沢市、鶴田町等で開催されてるが、黒石市では未開催である。

<課題>

- 児童生徒が、授業で身に付けた英語を実際のコミュニケーションの中で活用する機会が乏しいこと。
- 学校規模により、ALT（外国語指導助手）と直接コミュニケーションを取る機会について格差があること。
- ALTがより主体性を発揮できるよう、授業以外で様々な活用（活動）場面を設定すること。

【事業内容】

黒石市イングリッシュキャンプ事業

- 黒石市在住の中学生を対象に、外国語指導助手等とオール・イングリッシュによる様々な活動を行うことで、英語力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際協調の精神を養い、グローバル人材の育成を図る。
- | | |
|--------|---------------------------|
| (1) 対象 | 市内在住の中学1～2年生15名程度 |
| (2) 時期 | 夏休み（7～8月）中の1日 |
| (3) 講師 | 黒石市外国語指導助手及び近隣市町村の外国語指導助手 |
| (4) 場所 | 岩木青少年スポーツセンター |

ALT活用場面の拡大

- これまで1校に1人としていたALTの派遣を、学校からの求めに応じ、複数名派遣していくことにより、小学校の外国語活動や外国語、中学校の英語の授業における「聞く」「話す」活動の充実を図る。また、学校生活の授業以外の場面でも、より多くの児童生徒がALTと触れ合い、英語による日常的なコミュニケーションを経験できるようにする。
- やる気「UPる」塾の講師にALTを加え、英語の「聞くこと」「話すこと」の学習や英検の二次試験対策を行い、参加生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【効果】

- 英語によるコミュニケーションの機会が増えることで、児童生徒の異文化や英語に対する興味関心が高まる。
- 授業で身に付けた英語の活用力やコミュニケーション能力の向上、さらには将来グローバル人材として必要な自信と国際協調の精神が養われる。
- 企画課国際政策係による、小学生を対象とした事業（英語講座、オンライン交流）や将来的には中学生を対象とした海外派遣事業との連携により、英語について的小・中の学びの連続性が強まる。

黒石市地域ささえ合い活動促進事業【新規】

令和4年度事業費7,717千円

現状・課題

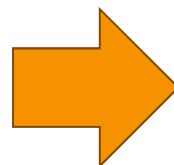
高齢者支援(介護保険制度)は、介護が必要となった高齢者の足りない部分だけを見て、ケアの内容を考え、地域や家庭が果たしてきた役割の一部を代替えし、高齢者の暮らしを支えてきた。(個別支援)

このまま高齢化や人口減少が進むことで、介護保険制度は財政難となることが予想されている。また、「人と人とのつながり」を構築しないまま個々への支援を続けると、高齢者の孤立は防げない。



事業内容

高齢者になっても、住み慣れた地域で、元気に生きがいを持って暮らしていくためには、地域での「人と人とのつながり」を深めていくことが重要。そこで、身近な地域において、住民同士での高齢者の日常生活上の助け合い活動や交流活動に対し、助成金を交付する。(互助支援)



フェーズ1 組織づくり支援

生活支援組織の発掘、または組織づくりを支援します。



フェーズ2 取組内容支援

生活課題と地域資源の洗い出し(見える化)及びその支援活動の方法等について支援します。

フェーズ3 組織活動支援

活動内容を検証し、更に一步踏み込んだ取組の導入など、組織の活性化とレベルアップを支援します。

住民主体の生活支援組織

町内会、地域住民、商店やNPO、民生委員、ボランティア団体など



活動内容(例)

活動内容

- ・送迎支援
(発着をつどいの場として、通院、買い物ツアー、余暇活動等のための乗り合いによる送迎)
 - ・買物支援
(買物代行活動、生活物資の配達活動)
 - ・交流、助け合い活動
(ゴミ出しや清掃、除雪等のほか、相談支援機関につなぐ活動)
 - ・つどいの場の整備
(バリアフリー化、熱中症対策など、通いやすい環境づくり)
- ※上記のほかにも、組織内でお互いにささえ合える活動



事業効果

高齢者にとって

- ・楽しさや生きがいづくり
- ・仲間づくりや閉じこもり防止
- ・心身の健康保持
- ・地域での情報交換
- ・移動手段の確保
- ・免許自主返納のきっかけになる

地域では

- ・地域活動の新たな担い手として、元気な高齢者の発掘
- 保険者的には
- ・要介護状態の重度化防止
 - ・介護給付費抑制につながる



マイナンバーカードを活用したコンビニ交付導入事業

R4年度事業費
37,110千円

事業内容

コンビニ交付サービスの導入により、マイナンバーカードの普及促進と市民の利便性の向上を図ります。

全国のコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末で、午前6時30分から午後11時までの間、マイナンバーカードを利用して住民票・印鑑証明・戸籍などの証明書を取得できるようになります。

【スケジュール】 令和5年3月 コンビニ交付開始（予定）

【取得できるようになる証明書】

住民票の写し、印鑑証明証、戸籍全部事項証明、戸籍個人事項証明、戸籍の附票の写しの全部証明、戸籍の附票の写しの個人証明

【利用できる店舗】 全国 約56,000店舗 市内 約15店舗
セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート 等



上下水道料金等のコンビニ収納及びスマホ決済導入事業（新規）

令和4年度の事業費 3,012千円

【現状・課題】

- ◆ 現在、水道料金等の支払は、納入通知書による市役所や金融機関の窓口から直接現金での支払い又は口座振替による自動引落しの2つの方法がある。

《令和4年1月現在》

- ・納入通知書利用率 … 約1割(約1,200件)
- ・口座振替利用率 … 約9割(約10,300件)

- ◆ 納入通知書による支払は、市内約10か所の取扱施設の開設日時内で支払可能となっている。

《令和4年1月現在》

- ・市役所 … 月～金 8:15-17:00
- ・金融機関 … 月～金 9:00-15:00等

取扱日時に制約があるため、交通弱者である高齢者や就労日時と重なる就労者にとっては、生活の負担となっている場合があり、期限内納付の遅延や滞納の一要因にもなっている。

【事業内容】

- ◆ 納入通知書にバーコードを付し、それを読み取ることで支払可能なシステムを構築する。



支払できる場所

- ① 市役所及び金融機関の窓口
- ② **コンビニ**
- ③ **自宅や職場等（スマホ決済）**

支払できる料金等

- ① **水道料金**
- ② **下水道使用料**
- ③ **農業集落排水処理施設使用料**

【事業効果】

- ◆ いつでもどこでも支払が可能となる。
- ◆ 多様化した支払方法により住民の利便性の向上が図られる。



地方消費税交付金引き上げ分が充てられる社会保障経費(令和4年度当初予算)

	経費	特定財源		一般財源	うち消費税引き上げ分	その他	
		国県支出金	その他				
社会福祉	障害福祉関係	1,142,219	834,843	2,612	304,764	39,990	264,774
	老人福祉関係	99,177	3,573	14,261	81,343	10,674	70,669
	児童福祉関係	2,392,359	1,559,265	26,024	807,070	105,901	701,169
	生活保護関係	1,134,674	863,186	0	271,488	35,624	235,864
	その他社会福祉	131,217	7,470	540	123,207	16,167	107,040
	小計	4,899,646	3,268,337	43,437	1,587,872	208,354	1,379,518
社会保険	介護保険事業関係	605,324	46,476	0	558,848	73,330	485,518
	国民健康保険事業関係	336,908	175,515	0	161,393	21,177	140,216
	後期高齢者医療事業関係	502,163	81,072	0	421,091	55,254	365,837
	小計	1,444,395	303,063	0	1,141,332	149,761	991,571
保健衛生	病院関係	471,985	14,351	0	457,634	60,049	397,585
	予防関係	179,860	8,061	7,377	164,422	21,575	142,847
	その他保健衛生	55,592	4,867	5,444	45,281	5,942	39,339
	小計	707,437	27,279	12,821	667,337	87,565	579,772
合計	7,051,478	3,598,679	56,258	3,396,541	445,681	2,950,860	

35